

[目的] 児童の環境教育の教材の一つとして「環境家計簿」に着目し、その有効性を検討することを目的とした。

[方法] 既存の「環境家計簿」から児童を対象とした「環境家計簿」を選定し、児童に配布した。その後、アンケート調査を実施し、次の3点について児童の評価を得た。

1. 「環境家計簿」への取り組み状況
2. 「環境家計簿」の目標の達成度
3. 「環境家計簿」のつけやすさ

[結果] 「環境家計簿」をつけることにより、ほとんどの児童が環境に配慮した生活を心がけたと自己評価していた。また「環境家計簿」の目標も十分に達成されており、児童にとって「環境家計簿」が一つの有効な学習教材となり得ることが明らかになった。

そこで、どのような「環境家計簿」がより効果的であるかを調べたところ、具体的な行動が提示されていること、イラスト・カラー等の視覚的な情報が多用されていることが重要であることがわかった。